

第27回長崎県子ども舞台芸術祭典

作品介绍

一県内すべての子どもたちに
生の舞台芸術の感動と豊かな地域をー

長崎県子ども舞台芸術祭典は、子どもと舞台芸術との出会いを通して、子どもたちが豊かに生き生きと育つ地域づくりをすすめています。

2020年開催の第25回祭典は新型コロナウイルス感染症拡大の状況下、残念ながら中止をせざるをえませんでした。しかし2021年開催の第26回祭典では長崎県内各地コロナの状況をみながら対策をし、21主催22公演を取り組み2,022名の出会いをつくることができました。

舞台を観入る子どもたちの生き生きとした眼差しと賑やかな笑い声は、「子どもの成長には心ゆさぶる文化体験が必要」という思いを改めて感じさせるものでした。また、電子メディアの前から離れ、仲間や地域の人たちと生の舞台を同じ空間でともに観る機会は、子どもが安心して育つ地域をつくるためにもとても重要なことです。地域の人たちとのつながり、顔見知りの関係があり、助け合える人たちの中で子どもを育てたい、大人も生きていきたい。まだまだコロナから解放される生活にはなりません、感染予防対策を取り工夫しながら、みなさんの地域でもこの祭典を通じて「子どもにやさしいまちづくり」をすすめていただければと思います。

特定非営利活動法人長崎県子ども劇場連絡会
代表理事 後田 晶子

- ①公演可能日 ②上演団体構成人数
- ③最大観客数 ④上演時間



サクラがいく！

人形芝居
ひつじのカンパニー

- ①7/20(水)～26(火)
- ②1名 ③150名 ④55分

ぼくはサクラ。段ボールの箱の中で、チエちゃんとお出っ
た。チエちゃんの家はあったかい。でも満月の夜、ぼくはチ
エちゃんの家を飛び出した。遠くへ遠くへと…。



ピアノの 魔術師

サウンドポケット

- ①7/14(木)～28(木)
- ②2名 ③200名
- ④60分

五感で音楽を感じる熱いコンサート！
ミッチュリーの奏でるピアノはびっくりがいっぱい！
今回はピアノとの2人編成でお届けします。

☆祭典を取り組んで～地域の声より

コロナ禍で閉ざされた島、我慢することの多い日常を送る子どもたち。舞台芸術祭典出来るかな？悩み迷う。「厳しい状況だからこそ子どもたちに元気と希望を与えたい。やろう！」その日から感染状況とにらめっこ、感染防止対策の話し合い、ドキドキの当日を迎えた。子どもたちの笑顔は最高でした。劇団の発する言葉、動き、思いが響き渡っていきました。「生の舞台芸術」の素晴らしさに皆で大興奮「また見たい！」子どもたちの声は今も聞こえてきます。

新上五島町「五つ星☆実行委員会」



あそびに きてね

CAN青芸

- ①7/20(水)～31(日)
- ②230名 ③3名
- ④50分

さみしいおばあさんと生意気なウサギとの心のふれあいをやさしくコミカルに描いたあたたかい世界。人と人形と生の音楽でお届けします。



チカパンの 大道芸！！

パントマイムプラネット

- ①7/19(火)～30(土)
- ②1名 ③200名
- ④60分

ハンガーにかかる多種多様な帽子たち。今日はどれにしようかな？笑いがあふれ、やさしい時間が流れます。パントマイムと一緒に楽しんでください。